

中小企業間連携におけるIT(情報技術)の活用 —クラウド・コンピューティング利用による、企業間連携の発展を—



藤 原 正 樹
(公立大学法人宮城大学)
(事業構想学部教授)

中小企業が、インターネットなどIT(情報技術)を活用し始めてから久しい。近年では、経済産業省が進める「IT経営応援隊事業」などを通じて、先進事例が報告されているように中小企業のIT活用はある程度定着し、成果を上げるようになってきている。今回取り上げるのは、その中でも進んだ事例というべきITを活用した中小企業間連携の試みである。

インターネットを活用した企業間連携

インターネットを活用した企業間連携の取り組みは、インターネット黎明期から見られた。連携のパターンを分類すると、①共同受注型、②サプライチェーン型、③コラボレーション型に区分することができる。

(1) 共同受注型

複数の中小企業が連携し、ホームページなどから共同で受注する形態である。1社では対応困難な案件であっても、連携することで経営資源の不足を補い、受注を実現する形態である。

(2) サプライチェーン型

取引データをネット上で交換することで、効率的に企業間取引を行う形態である。従来は大企業を中心とするピラミッド型の取引ネットワークであったが、標準的な取引手順を採用することで、中小企業間の横連携を実現している。

(3) コラボレーション型

参加メンバー間の交流や相談を中心に行っている連携のパターンである。短絡的にビジネスに結びつける傾向とは距離を置きつつ、顔の見える交流を大切にし、長期的にみて利益になる関係をめざしている。

新たな産業集積としての可能性

最近、筆者が注目しているのは、サプライチェーン型とコラボレーション型を組み合わせた連携である。そこでは、産業集積のように、緩やかで柔軟なつながりを保ちながら専門性の高い分業が成立している。

2つの事例を紹介しよう。京都のある中小企業のグループは、インターネット上に共同の

作業スペースである「デジタルワークプレイス」を構築し、顧客への新たな提案のための共同作業を実現しようとしている。受注や発注など企業間取引の業務に加えて、付加価値の高い提案を実現するための電子会議室を設け、離れた場所でも共同作業を可能としている。また、着物など和装業界のグループは、川上から川下までの業者間で連携し、共通の取引システムを共同開発することにより、商品品質保証のためのトレーサビリティを実現している。従来の業界を超えた縦横のネットワークで運営しているのが特徴である。

産業集積は地域のつながりを基盤にしたものが中心である。これらの産業集積は、集積地域内での企業数の減少が続いており、取引の広域化、国際分業の拡大の中で、産業集積そのものの存在意義が問われる局面を迎えている。インターネットなどITを活用した企業間連携は、新たなタイプの産業集積を生み出す可能性を持っている。

クラウド・コンピューティング活用により、企業間連携の発展を

近年注目を集めているクラウド・コンピューティング（Cloud Computing）は、中小企業における新たなIT活用の可能性を拓いている。ITは購入するのが従来の常識であったが、クラウドを活用すれば必要な機能だけを必要な期間だけサービスとして利用できる。これまで、中小企業のIT活用を阻害している要因として、①資金力の不足、②ITを理解している人材不足が指摘されてきた。クラウド・コンピューティングを活用すれば、少ない初期費用で、しかもIT専門家の力を借りなくとも、高度なIT利用環境を手に入れることができる。ITに関する環境は外部の専門家に任せ、自らは業務にITをいかに活用するかに専念することができる。

インターネット上の“バーチャル空間”での企業間連携は、“実空間”でのそれよりも運営が困難である。ネット上でスムーズなコミュニケーションを実現するには、高度な機能を持ったシステムが必要となる。従来、中小企業がそのようなシステムを導入するのは困難であったが、クラウドを活用することにより低コストで導入できるようになった。

ここで忘れてはならないのは、企業間連携を実現するのはあくまで組織や人の力であり、ITを導入するだけで実現できるものではないという点だ。先に紹介した2つの事例は、インターネット上での連携を実現するまでに、長期にわたるコミュニケーションを経てお互いの信頼関係を築いてきた歴史がある。その信頼関係があったので、スムーズにネットワーク上の企業間連携へと発展することができた。

現在、クラウド・コンピューティング上で使用できるサービスはまだ多くなく、限られている。しかし、今後中小企業IT活用の“救世主”になる可能性は大いにある。新たなIT環境を活用し、中小企業の企業間連携が拡大していくことを期待したい。